

第 38 回高知県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

1 日 時 令和 4 年 1 月 7 日（金） 16：00～

2 場 所 県庁本庁舎 2 階 第 2 応接室

3 議 題

（1）「まん延防止等重点措置」について（危機管理部）

（2）県内の感染状況について（健康政策部）

（3）県の対応方針について（危機管理部）

（4）各部の報告事項について（関係部のみ）

（5）知事からの指示事項（知事）

（6）県民の皆さまへのメッセージ（知事）

「まん延防止等重点措置」について

■ 実施区域 : 広島県、山口県、沖縄県

■ 対象期間 : 1月9日(日) ~ 1月31日(月)

■ 求められる主な対策

○ 飲食店に対する営業時間短縮(20時まで)の要請及び酒類の提供を行わないよう要請。また、認証店に対しては、営業時間短縮(21時までを基本)の要請※1を行い、酒類の提供は可能※2とする。

※1 認証店は知事の判断で営業時間短縮の要請を行わないことも可能

※2 知事の判断で酒類の提供を行わないよう要請することも可能

○ 飲食店等及び飲食店等の利用者に対し、同一グループの同一テーブルでの5人以上の会食を避けるよう要請。

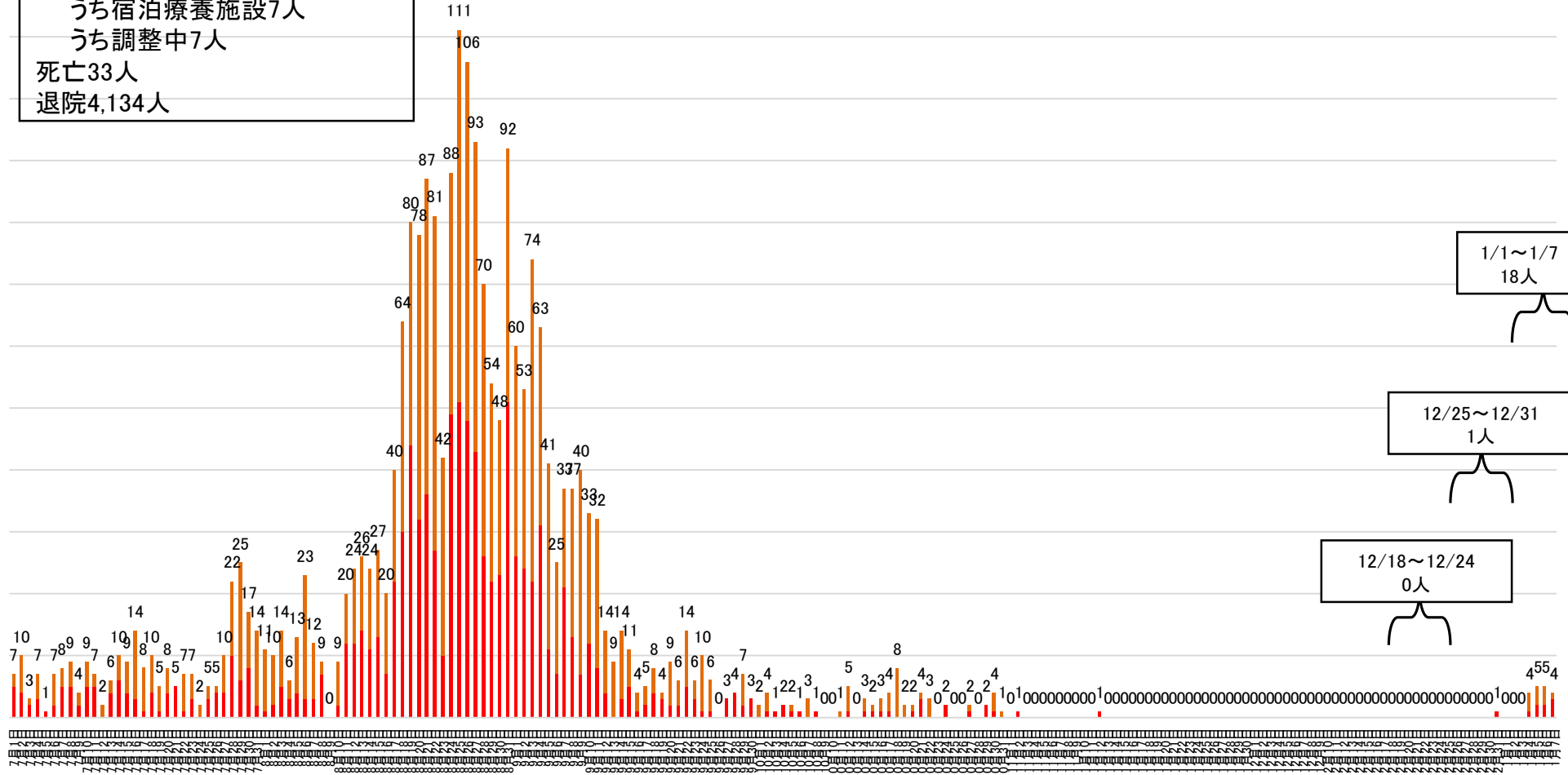
○ 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動の自粛要請

(人) 新型コロナウイルス感染者数の推移(日毎)(令和3年7月1日～令和4年1月7日)

累計4,186人

(7月1日以降の累計2,362人)

入院治療等を要する患者19人
 うち医療機関5人
 うち宿泊療養施設7人
 うち調整中7人
 死亡33人
 退院4,134人



1/1～1/7
18人

12/25～12/31
1人

12/18～12/24
0人

報道発表日

■ リンク無 ■ リンク有

新型コロナウイルス感染症の 最近の患者発生状況

期間

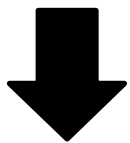
人数(10万人あたり)

うち感染経路不明数

12/18~12/24

0人(0人)

0人



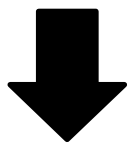
-

-

12/25~12/31

1人(0.1人) オミクロン株:1人

1人



18倍

9倍

1/1~1/7

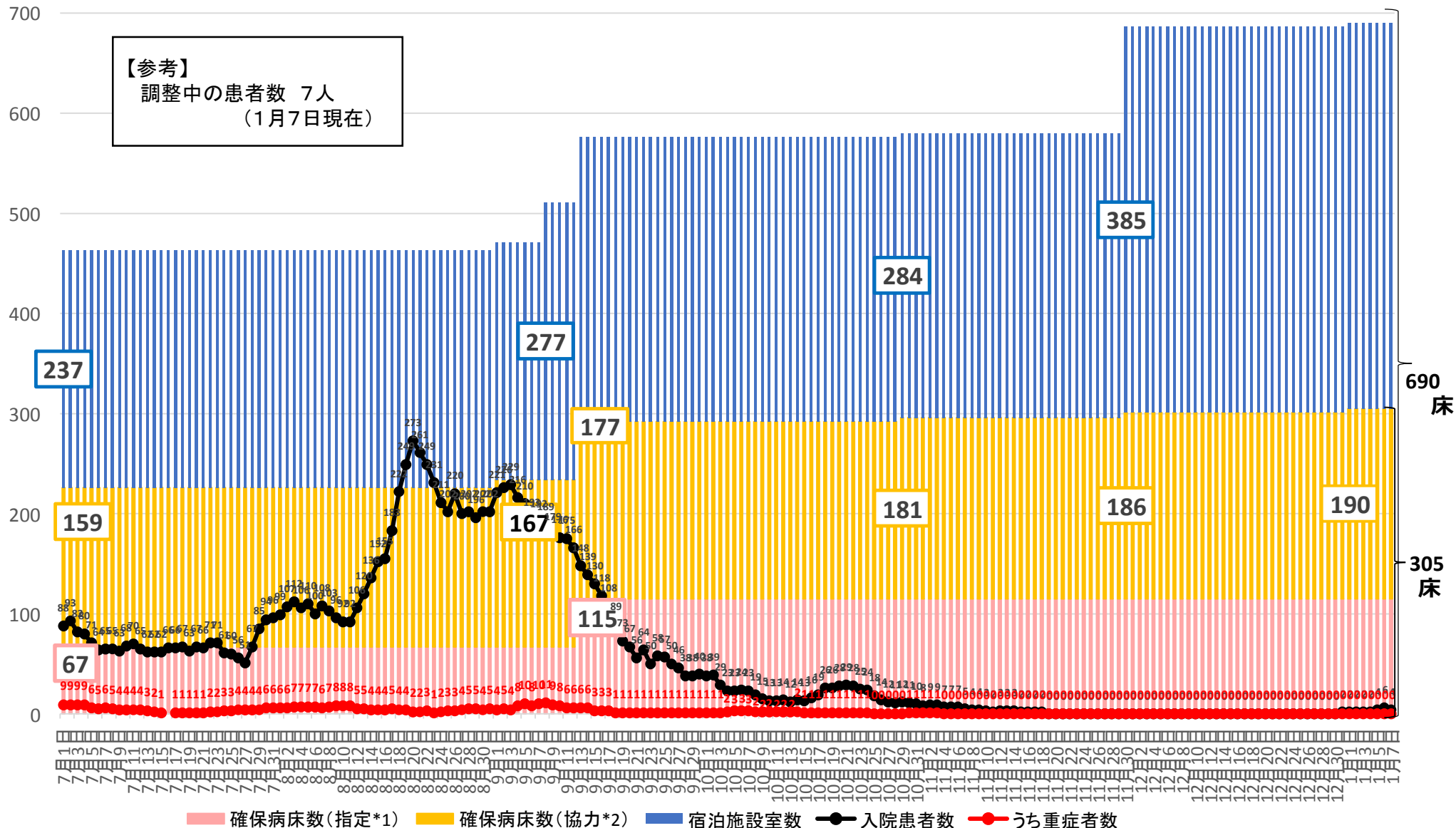
18人(2.6人) デルタ株疑い :14人
オミクロン株疑い:2人
検査中 :2人

9人

入院患者数と確保病床数の推移(宿泊療養含む)(令和3年7月1日～令和4年1月7日)

(人)(床)

【参考】
調整中の患者数 7人
(1月7日現在)



(*1: 感染症指定医療機関, *2: 入院協力医療機関)

※9/3～9/17、県内の医療機関に入院している県外陽性患者1人を含む
 ※12/31～ 検疫陽性患者で県内の医療機関に入院している者1人を含む

高知県の新型コロナウイルス感染症の対応目安

判断指標		県の状況（1月7日現在）	
		対判断指標	総合判断
①最大確保病床の占有率 （入院患者数/最大確保病床数）	感染観察（緑）：3%未満	2.0% (6/305) うち重症用即応病床の占有率：0% (0/24) (検疫陽性患者で県内の医療機関に入院している者1人を含む)	注意
	注意（黄）：3%以上		
警戒（オレンジ）：10%以上			
特別警戒（赤）：25%以上			
非常事態（紫）：40%以上			
②全療養者数	警戒（オレンジ）：45人以上 特別警戒（赤）：280人以上 非常事態（紫）：500人以上	20人 (検疫陽性患者で県内の医療機関に入院している者1人を含む)	
③直近7日間の新規感染者数	感染観察（緑）：7人未満	1/1～1/7 全数:18人 (うち感染経路不明数:8人) ※前週（12/25～12/31）：1人	①最大確保病床の占有率は「感染観察」レベルであるが、 ③直近7日間の新規感染者数は「注意」レベルであることに加え、感染経路不明のオミクロン株疑い事例が確認されたことから、総合判断は「注意」とする。
	注意（黄）：7人以上		
警戒（オレンジ）：35人以上			
特別警戒（赤）：245人以上			
非常事態（紫）：420人以上			
④感染経路不明割合 （直近7日間） ※ステージ「警戒」以上での場合に適用	警戒（オレンジ）：50% 特別警戒（赤）：50% 非常事態（紫）：50%	1/1～1/7：44.4% (8/18)	
⑤PCR陽性率 （先週1週間）	特別警戒（赤）：5% 非常事態（紫）：10%	12/27～1/2 0.2%（1/446） (衛生環境研究所以外の検査を含む)	

高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安（暫定版） 令和3年11月25日変更

判断指標	ステージ	感染観察（緑）	注意（黄）	警戒（オレンジ）	特別警戒（赤）	非常事態（紫）	
※1	最大確保病床の占有率 〔直近7日間の新規感染者数の想定〕	3%未満 〔7人未満〕	3%以上 〔7人以上〕	10%以上 〔35人以上〕	25%以上 〔245人以上〕	40%以上 〔即応病床の占有率：50%以上〕 〔420人以上〕	
	国の分科会のレベル分類	レベル0 （感染者ゼロレベル）	レベル1 （維持すべきレベル）	レベル2 （警戒を強化すべきレベル）		レベル3 （対策を強化すべきレベル） 〔まん延防止等重点措置相当〕	レベル4 （避けたいレベル） 〔緊急事態措置相当〕
対応方針 ※2	共通事項	<input type="checkbox"/> 「新しい生活様式」等の実践 （例）・身体的距離（1～2m）の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒 ・咳エチケット ・こまめに換気 ・公共交通機関では会話は控えめに ・会食の際に会話の主となる時間帯にはできる限りマスクの着用を ・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて ・マスクを外してのカラオケは控えて ・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨 <input type="checkbox"/> 各店舗における適切な感染対策の徹底					
	外出		「3密」の徹底回避		混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出自粛を呼びかけ		
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※3 の休業、営業時間短縮の要請の検討	一定の業種 ※3 の休業、営業時間短縮の要請	
	会食	（共通事項に留意）	可能な範囲で規模縮小・時間短縮	4人以下、2時間以内 ※4 （ワクチン・検査パッケージの活用により緩和）		4人以下、2時間以内 ※4 （ワクチン・検査パッケージの活用により緩和）	
	イベント等	（国の基本的対処方針、業種別ガイドライン等に基づき対応）			「人数」、「収容率」上限の設定を検討 （ワクチン・検査パッケージの活用により緩和）		「人数」、「収容率」上限の設定 （ワクチン・検査パッケージの活用により緩和）
	県立学校	市町村毎の感染状況等を踏まえて判断 ※5					
	県立施設		開館		使用制限の検討		
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断					

※1 判断指標については、「最大確保病床の占有率」や入院中の重症者数等のほか、従来活用してきた各種指標（直近7日間の新規感染者数、感染経路不明割合、PCR陽性率等）も考慮し、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 感染が急速に拡大し、医療提供体制のひっ迫が見込まれる場合等においては、強い行動制限を要請する場合がある。

※3 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。第三者認証制度の適用店舗については、営業時間短縮の要請を行わない場合もある。

※4 同居の家族のみの会食は、人数制限の対象としない。

※5 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」や県教育委員会独自の基準に基づき、市町村毎の感染状況等を踏まえ、休業等を判断するものとする。

県内の感染状況を踏まえた対応方針、県民・事業者の皆さまへのお願い

「感染症対応の目安」におけるステージ：**注意（黄）**（令和4年1月7日時点）

1月7日からお願い（1月31日まで）

○県民の皆さまへ

- (1) **マスクの着用、3密の回避等、基本的な感染防止対策を徹底してください。**
- (2) 特に屋内でのスポーツの場などにおいては、更衣室等を含めた十分な換気や手指消毒、共用部分の消毒などをこまめに行ってください。
- (3) 接触確認アプリ「COCOA」をインストールしましょう。
- (4) 感染者やその家族、医療従事者等に対し、誹謗中傷や差別的な行為を行わないようにしてください。
- (5) **県内において、オミクロン株による市中感染例が確認されています。無症状でもご不安のある方は、県が設置する検査会場等において、PCR検査等（無料）を受けることができます。また、症状のある方は、検査協力医療機関での受診をお願いします（行政検査として無料）。**

○事業者の皆さまへ

- (1) 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策（特に、従業員のマスク着用）を徹底していただくようお願いします。
- (2) 特に、酒類を提供する飲食店やスポーツ施設の管理者の皆さまは、ガイドラインの遵守をお願いします。
- (3) 在宅勤務（テレワーク）や時差出勤等の取組を推進していただくようお願いします。

1 会食について

- (1) 会話が主となる時間帯には、できる限りマスクの着用を励行するなど、飛沫感染の防止に努めてください。
- (2) 特に、飲酒の場などでの「献杯・返杯」や「大声での会話」、「マスクを外してのカラオケ」など、感染リスクの高い行動は、控えるようお願いします。
- (3) 会食にあたっては、できる限り「高知家あんしん会食推進の店」を利用していただくようお願いします。

2 外出について 外出の際には、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

3 他県との往来について

- (1) **「まん延防止等重点措置の対象地域（広島県、山口県、沖縄県）」など、感染拡大地域との往来は極力控えてください。**
- (2) 旅行の際は、感染状況が落ち着いている地域を選び、混雑しない時期に、普段から接している仲間と楽しむようにしてください。
- (3) 他県へ移動する際は、会食時の対応を含め移動先の都道府県知事が出している要請やメッセージに沿って行動してください。
- (4) そうした対応が難しい場合には、旅行などでの移動は、慎重に検討してください。
- (5) 発熱などの症状がある方や体調の悪い方は、他県との往来を控えてください。

4 イベント等について 開催にあたっては、以下の点に注意したうえで、業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底してください。

- (1) 参加人数が5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催については、県へイベント開催の2週間前までに「感染防止安全計画」を提出してください。
「感染防止安全計画」を策定し、県による確認を受けたイベントは、人数上限は収容定員までかつ収容率の上限を100%とします。 ※「大声なし」が前提
- (2) (1) 以外のイベントの人数上限
 - ・5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方
 - ・「大声なし」のイベント等の収容率：100%、「大声あり（注）」のイベント等の収容率：50%※収容率と人数上限でどちらか小さいほうを限度（両方の条件を満たす必要）

5 県立施設等について 業種別ガイドライン等に基づく感染防止対策を徹底したうえで、通常どおり開館しています。

（注）大声を「観客等が通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとします。

病床・宿泊療養施設確保計画

○病床等確保において基本とする考え方

① 1日の推計最大新規感染者数	127人
② 1日の推計最大療養患者数	851人
③ 推計最大重症患者数	24人
④ フェーズ数	6 (フェーズ0～5)

○フェーズの切り替え時期

フェーズ0	
フェーズ1	フェーズ0の病床数の5%が利用された段階
フェーズ2	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階
フェーズ3	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階
フェーズ4	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階
フェーズ5	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階
緊急時	県が必要と認めた段階

患者5名

患者10名



目的

県内において、オミクロン株による市中感染例が確認されたことに伴い、特措法第24条9項等に基づき、「高知県臨時PCR検査センター」を設置し、無症状でも不安のある県内在住者について、無料のPCR検査を受けられるようにするもの。

概要

会場	高知新港客船ターミナル（高知市仁井田4705）
実施日時	令和4年1月4日（火） <13時00分～19時00分> 令和4年1月5日（水）～1月8日（土） <10時00分～18時00分>
対象者	高知県内に在住し、感染に不安を感じる無症状の方（ワクチン接種の有無を問わず） ※高知県外に在住している方は無料検査の対象外
実施事業	感染拡大傾向時一般検査事業 感染拡大の傾向が見られる場合に、都道府県知事の判断により、感染リスクが高い環境にある等のため、感染不安を感じる無症状の住民（当該都道府県の住民たる者）に対し、特措法第24条第9項等に基づき検査受検を要請し、要請に応じた住民が受検する検査を無料とする事業 ※オミクロン株の市中感染が当該県または隣接県で確認された場合も対象となる

実施状況

検査実施日	検査受付数	陽性者数
1月4日(火)	210人	0人
1月5日(水)	279人	0人
1月6日(木)	298人	※検査中

本県における新たなオミクロン株の市中感染例の確認や、県外での感染拡大状況を踏まえ、設置期間を延長する

令和4年1月16日（日）まで延長（予定）
<10時00分～18時00分>